

生田緑地マネジメント会議ニュースレター

「生田緑地マネジメント会議」の内容をお知らせします。

平成30年度第4回運営会議が開催されました。

平成31年2月15日(金) 18:00～20:00 生田緑地東口ビジターセンターにて第4回運営会議が開催されました。「生田緑地の入口の名称」について活発な意見交換がなされました。3月の全体会におきまして、川崎市へ提言することとなりました。

議事概要

①協議事項

1. 出入口名称について。名称案と公表の必要性
2. 生田緑地マネジメント会議パンフレット検討について
3. 全体会議第2部について(3月28日18:00～ビジターセンター)

②報告事項

1. 自然環境保全管理会議からの報告
2. 生田緑地ホームページリニューアルについて
3. 小田急ニュースリリース: 登戸駅構内に「ドラえもん」装飾を実施
4. 生田緑地整備の考え方(案)について



会議の様子

協議事項

出入口の名称について

今回の運営会議で名称案が確定し、全体会議で川崎市への提言を行うことが決定しました。現在「北口」と表記されることが多い入口については、生田緑地の歴史的遺産でもある「長者穴古墳群」から「長者穴口」という案が出され、全員一致で決まりました。これらは、「生田緑地マネジメント会議会則」第19条3項: 運営会議は、「生田緑地の自然の保全・利用方針」について市に対して提言を行うことができる。にのっとり、川崎市へ提言することとなります。

生田緑地マネジメント会議パンフレット検討について

パンフレットのコンテンツ案が事務局より提出され、それらについて、意見の交換がありました。出された意見は、生田緑地マネジメント会議の唯一無二の魅力である「協働のプラットホーム」の仕組みに関わってみる。生田緑地ビジョンに示されている保全と利用の調整をはかりながら行うこと。都市計画に指定されていることは是非とも出していきたい。マネジメント会議の紹介が全面的に出したい。様々な機関が自由に意見を出し合い市への提言ができるような素晴らしいことを理解してもらえるとありがたい。などと様々な意見が出されました。継続案件であり、コンテンツで重要な場所を浮き彫りにして再度整理し次へ進めることとなりました。

報告事項

自然環境保全管理会議から

自然環境保全管理会議の次期役員は、2月1日会議で磯谷会長、岩田副会長が満場一致で続投となり、3月の全体会にて承認後、正式決定となります。ニュースレター「平成30年度 第3回」の報告

- ・竹林地区(A08)の西側、畑跡地の利用等について
- ・初山周遊散策路植生管理計画について
- ・スズメバチ営巣対策フロー
- ・生田緑地における実生苗補植ガイドライン(試用案)

小田急ニュースリリース: 登戸駅構内に「ドラえもん」装飾: 市民文化振興室

藤子ミュージアムの直行バスが出ている登戸駅は藤子ミュージアムの玄関口となっており、小田急さんの事業の中で、ドラえもんを使って様々な装飾をしていく。2月26日から始まっています。

生田緑地整備の考え方(案)について: みどりの保全整備課

生田緑地整備の考え方というテーマが漠然と大きく、「考え方」に対する考え方も議論が必要という指摘もあった。「東生田2丁目の整備に関する今後の調整フロー」につきましては、意思表示をした段階です。マネジメント会議へも情報提供をし、住民の方との協議もしていかなければならない。並行して進める。

～生田緑地ビジョン基本理念(生田緑地のめざす将来像)～
豊かな自然・文化・人・まちが共に息づき
緑がつなげる持続可能な生田緑地の実現